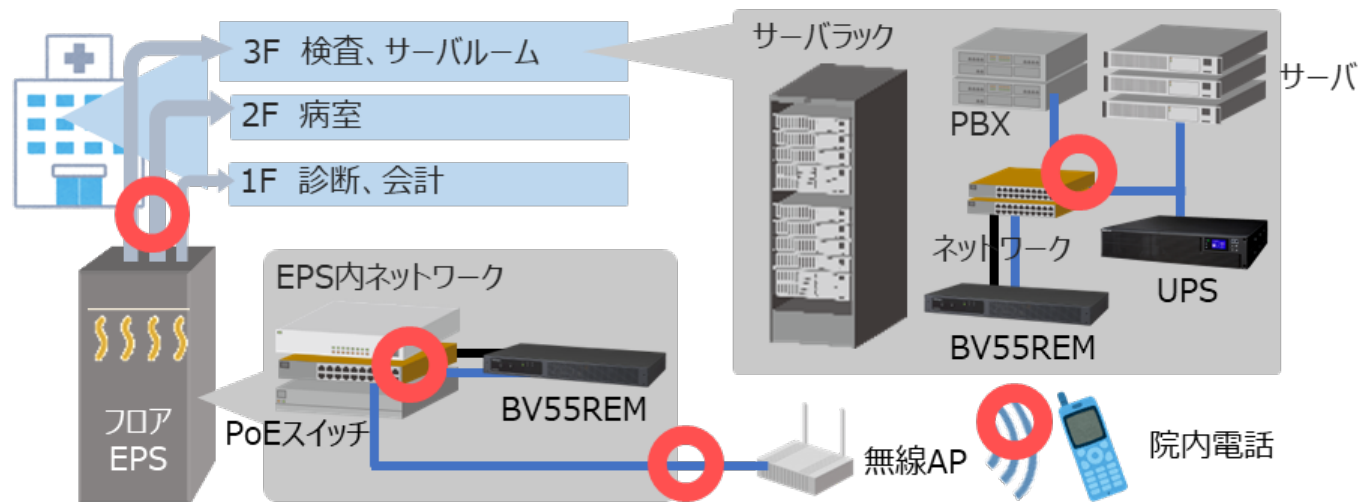


## 事例2：継続稼働、早期復旧が重要な病院内ネットワーク

### 目的

フロアごとのネットワーク機器は高温、狭所で無人のEPS内設置が多く、通信の継続稼働とフリーズ時の早期復旧が重要  
 ①各EPS内有線スイッチ、②院内無線アクセスポイント、③院内電話システム

### 構成



### 困りごと

- ・EPS内は狭く、空調が無いので、高温になる
- ・無人のため、通信機器のフリーズした場合、作業員が復旧するまでサービス停止し、医療現場の混乱を招く恐れがある
- ・UPSを使いたいけど、EPSのネットワークキャビネットに収容ない
- ・UPSの状態確認が簡単に目視できないことで、バッテリー交換のタイミングがわからず、メンテナンスが効率的にできない

### 期待される改善

- ・高低温環境でも利用できる耐環境仕様で**設置場所を選ばない**
- ・ネットワーク経由で**遠隔管理ができる**
- ・死活監視・自動復旧による機器レポートができるため、**復旧におけるダウンタイムと作業工数、人件費を削減できる**
- ・1Uサイズの薄型軽量で**設置スペースに困らない**
- ・長寿命のリチウムバッテリーで**メンテナンス頻度を低減できる**